

授業科目	教職実践演習(養護教諭)				単位	2		
履修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE34128J		
開講年次	4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	西丸 月美、杉谷 修一、新谷 恭明、一期崎 直美、塚本 美紀、手嶋 英津子、太田 かおり							
授業概要	この授業は、これまでの教職課程での学習及び養護実習を振り返りながら、養護教諭としての使命感、保護者や地域への責任、信頼される学校づくり等の課題について考える機会となることを意図している。また、児童生徒等の理解の方法や専門性を高めるためのリソース活用法など、各演習テーマについて、グループ学習や討議・発表といった演習形式で学習し、養護教諭の実践的スキルと資質・能力の向上を目指す。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程関連科目について振り返り、各自に残された課題を確認する。 2. 養護教諭として求められる資質・能力を具体的な学校場面に位置づけて考えることができる。 3. 信頼される学校づくりに資する養護教諭のあり方についての理解を深めることができる。 4. 児童生徒等の理解の方法とそれに基づく教育活動についての実践力を高めることができる。 5. 保健教育の計画・実施・評価に関する実践力を高めることができる。 6. 養護教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	30	10	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			10				10	
知識・理解 (DP1-2)			10				10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10		5		15	
思考・判断 (DP2-2)			10				10	
関心・意欲 (DP3-1)					5		5	
関心・意欲 (DP3-2)				5		5	10	
態度 (DP4-1)				5		5	10	
態度 (DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)				5			5	
技能・表現 (DP5-1)				5		5	10	
技能・表現 (DP5-2)				5		5	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
養護教諭の実践的スキルと資質・能力の向上を目指しているの、到達目標がすべてできる段階からさらに新規採用の養護教諭として実務ができるように深めることができるのを理想とする。				養護教諭の実践的スキルと資質・能力の向上を目指しているの、到達目標がすべてできることを標準とする。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:イントロダクション(全員) これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。	演習	復習:演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。	60
2	テーマ:養護実習の振り返り(西丸) 養護実習を体験して各学校の特色ある活動や養護教諭の取り組み実践についてグループで意見交換を行い、発表する。	演習	予習:自己の実習記録を読み直し、別紙発表用にまとめてくる。 準備:実習記録を持参する。	90
3	テーマ:養護実習の振り返り(西丸) 養護実習を体験して明確になった各自の課題を確認し、課題解決に向け討議を行う。	演習	予習:事前配布プリントに記入し参加する。	60
4	テーマ:教師にとっての使命感(杉谷) 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を学ぶ。	演習	復習:授業内容の定着を図る。	60
5	テーマ:家庭や地域、関係機関との連携(外部講師、西丸、杉谷) 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について、グループで学ぶ。	講義	復習:授業内容の定着を図る。	60
6	テーマ:学校における発達障害(外部講師、西丸、杉谷) 近年ますます重要な課題となっている学校現場における発達障害について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る	60
7	保健教育(1)(西丸) 保健指導または保健学習の指導計画をグループで立案し、指導内容について討議を行う。	演習	予習:指導計画をグループで作成する。 復習:指導計画を修正する。	120
8	テーマ:保健教育(2)(西丸) グループ別に立案した指導計画に基づき演習し、実践力向上に向け討議を行う。	演習	予習:教材を作成し、演習する。	270
9	テーマ:保健教育(3)(西丸) グループ別に立案した指導計画に基づき演習し、実践力向上に向け討議を行う。	演習	予習:教材を作成し、演習する。	270
10	テーマ:保健教育(4)(西丸) グループ別に立案した指導計画に基づき演習し、実践力向上に向け討議を行う。	演習	予習:教材を作成し、演習する。 復習:授業内容の定着を図る。	90 60
11	テーマ:養護教諭の専門性を高めるリソース活用法(西丸) 養護教諭の専門性向上のためのリソース活用についてグループで討議を行う。	演習(GW)	予習:授業テーマについて予習を行う。 復習:授業で学んだことをノートに整理する。	60 60
12	テーマ:「養護教諭の専門性を高めるために」(外部講師、西丸、杉谷) 現職養護教諭との講話と交流を通して、養護教諭の専門性について学びを深める。	講義	予習:養護教諭の専門性について整理しておく。 復習:授業の内容を整理し、レポートを作成する。	60 90
13	テーマ:特別支援学校における養護教諭の職務・役割について(外部講師、西丸) 障害を抱える子どもへの養護教諭の対応や学校での取り組みについて学びを深める。	講義	予習:授業テーマについて予習を行う。 復習:講義の内容を踏まえ、レポートを提出する。	60 90
14	テーマ:資質・能力の向上に向けた課題の確認(全員) 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで	演習	復習:演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60

	取り組むべき各自の課題について整理する。			
15	テーマ:まとめ(全員) 第14回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。	演習	復習:各自の課題解決の取り組みに向けた実践に取り組む。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	この演習は、教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的スキルや能力の向上を目指すものである。養護実習の記録類や履修カルテ作成をきちんと行って実習の復習を行っておくことが大切である。。			
テキスト	教科書は使用せず、担当教員が適宜、授業においてレジュメ等を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	履修カルテ、養護実習記録 その他、授業中に指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	履修カルテを活用しながら、教職の関連科目や専門科目と教育実習を各自で振り返り、授業に臨んで欲しい。 教員を目指す者には、採用試験に向けた準備のためにも色々と参考になる情報や知識が含まれているので、この授業を大いに活用して欲しい。 授業中の教師の説明や解説、意見交換の内容をこまめに記録して役立てることをお勧めする。			

達成度評価に関するコメント	レポート内容及び課題提出等については、授業の中で指示する。 その他の評価については、授業への貢献度等で評価する。
---------------	---